

羽ばたけ 大空へ

新聞財団

令和元年度鹿屋体育大学卒業証書 および学位記取得者へ贈る言葉

鹿屋体育大学長 松下雅雄



このたび鹿屋体育大学卒業証書および学位記授与を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

卒業証書および学位記を授与された皆さんを今までご支援いただきまして、ご家族の方々をはじめと関係者の皆様、誠にありがとうございます。と同時に、国立大

今年度の卒業証書および学位記授与式は、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、式典の開催を中止することとなりました。卒業生・修了生として学位記取得者の皆さんはもとより、式典を楽しみにされていたご家族の皆様および関係者の皆様のお気持ちを察すると、本学としては苦渋の決断でありまして、何卒ご理解いただきたく存じます。

「スポーツを通じて幸福で、豊かな生活を営むことは全ての国民の権利である」と法律として謳っておりますが、それはスポーツが人間や人間社会に対してさまざまな価値を持つからだと考え

スポーツ大会やスポーツイベントの開催により、地域を活性化できることで、スポーツ競技大会では、参加する選手だけでなく、運営する人たち、そして、応援する人たち

今年この鹿児島県で開催される予定の国民体育大会において、県の代表選手が活躍することが大いに期待されますが、その裏には選手を支える指導スタッフたち、大会運営を支える人たち、そして大会を盛り上げ選手の活躍を促す応援者の存在があつて、これらのスポーツ競技大会が成功します。

スポーツの推進・振興には、施設や設備など物的環境が必要で、また、それを準備・運営するための経費も必要で、しかも、二十代を過ぎると、身体を動かさなくなると、年齢とともに筋力や持久力の低下が顕著になります。適正な強度、頻度でスポーツ・運動をすることが、体力の維持・増進に役立つことです。そして、三つ目は、ス

スポーツの価値を最大限にするためには、それに関係する人が品位、倫理観をもつことが肝要だと考えます。

冬は寒さを感じ、使命感を持って鹿屋島をあとに遠征へ向かう日々でした。しかし、苦しい練習とは反比例して成績が出ない絶望感や、大きなプレッシャーに耐えることが出来ず、自分自身を見失い、結果、日本代表から離れてしまいました。離れてしまった今、幼い頃からの夢であったオリンピック出場は、もう叶いません。ですが、この挫折があつたからこそ、私は自分自身で新しい道を開き、次のステージへ進むきっかけをつかむことが出来たと感じています。このような特別な経験をすることが出来た本学での四年間は、私にとってのかけがえのない財産です。

これから私たち卒業生は、それぞれ違った道へ歩みます。本学で培った貴重な経験を誇りに、各分野で貢献できる人材になることを目指し今後とも精進してまいります。最後になりましたが、松下学長をはじめ教職員の皆様、改めて御礼申し上げますとともに、今日（こんにち）まで私たちの成長を見守り続けてくれた家族に感謝し、鹿屋体育大学の一層の発展を祈りまして、答辞とさせていただきます。

令和2年3月24日
卒業生代表
スポーツ総合課程
橋本優弥

編集・発行／公益財団法人 鹿屋体育大学 体育・スポーツ振興教育財団 〒891-2393 鹿屋市白水町1番地 鹿屋体育大学内 0994-46-4827 (直) 編集兼発行人 風呂井 敬

卒業生代表 スポーツ総合課程 橋本優弥



とを考えます。

本学で、スポーツを習得し「できる」、スポーツを理解し「わかる」、そしてスポーツを広める「伝える」、各知識・能力を修得し、晴れて、本日、卒業証書および学位記を授与された皆さんには、有償、無償にかかわらず、時代に即した倫理観を持って、スポーツ文化を伝える、広めるリーダーの役目を、国内外を問わず、今後、担っていただけることを切に希望します。

青春時代を過ごされたここ大隅の地を、鹿屋体育大学を第二のふるさとと思っていたいただき、皆さんがいつまでも、何度でも来訪、来学されることをお待ちしております。

これからの皆さんが心身ともに健康を維持され、社会のリーダーとして活躍されますことを教職員一同、切に願っています。卒業証書および学位記授与を祝う告辞といたします。

私はこの四年間、強豪校で有名な本学自転車競技部に所属し、競技に打ち込んでまいりました。レベルの高い練習により競技力が向上したことから、いつしか私の競技環境は国内から国外へ広がっていき、鹿屋にいる時間よりも他県や海外で過ごす時間が長くなっていきました。大学生なのにも関わらず、学校よりも競技を優先していることに迷いを感じ、何のために大学へ来たのか、この選択はあつていいのか、答えが出ない疑問に思い悩んだ時期もありました。

そんな時周りを見渡すと、競技との両立を応援してくれる先生方や、励ましてくれる仲間がこの地におり、そんな人たちのためにもオリンピックに出場しなければなら

令和元年度鹿屋体育大学卒業証書・学位記授与式は、国内外における新型コロナウイルス感染症の拡大が深刻な中、感染防止に対する万全の体制を取るための対策が十分にできないことから、学生の安全確保と健康を第一に考えて中止となりました。希望する学生には卒業式が予定されていた3月24日に、マスク着用と換気を十分に考慮した水野講堂で、松下雅雄学長から卒業証書が手渡されました。式典で予定されていた学長から卒業生へ贈る言葉、卒業生代表の答辞、在学生送辞を、この紙面を通して卒業生のみなさんに発信させていただきま

令和元年度卒業式



ミズノスポーツ振興財団は、
スポーツの振興・普及を目指し、
スポーツを愛する人たちを応援しています。

2020年
ミズノスポーツ振興財団は、
創立50周年を迎えました。

公益財団法人
ミズノスポーツ振興財団

スポーツを愛する
すべての人とともに

SOUTEN No.349

特別スポーツ奨学金

課外活動団体名	氏名	大会名	種目・記録	成績
体操競技部	杉野正亮	2019FIG 種目別チャレンジカップ ギマランイス大会	ゆか 14.000	1位
			あん馬 14.825	1位

冠スポーツ奨学金(個人)

陸上競技部	高木駿一	2019日本学生陸上競技個人選手権大会	男子800m 1分52秒92	2位
	小林青	天皇賜盃 第88回日本学生陸上競技対校選手権大会	男子1500m 3分43秒47	2位
テニス部	今村風沙	2019年度 全日本学生室内テニス選手権大会	女子シングルス	2位
漕艇部	四方美咲	第97回全日本選手権大会	軽量級女子ダブルスカル	1位
	谷口智佳子			
カヌー部	袖野秀斗	第55回全日本学生カヌースプリント選手権大会	男子カナディアンシングル(C-1) 1000m	2位
	佐藤博幸	第55回全日本学生カヌースプリント選手権大会	男子カナディアンシングル(C-1) 200m	1位
	森愛奈	第55回全日本学生カヌースプリント選手権大会	女子カヤックシングル(WK-1) 200m	1位
	田原瞭太	2019年度 SUBARU 日本カヌースプリント選手権大会	男子カヤックペア(K-2) 200m	1位
	森黒開	2019年度 SUBARU 日本カヌースプリント選手権大会	男子カヤックフォア(K-4) 500m	1位
	安藤久拓			
	下屋敷泰成	2019年度 SUBARU 日本カヌースプリント選手権大会	男子カナディアンペア(C-2) 500m	2位
	林田愛	2019年度 SUBARU 日本カヌースプリント選手権大会	女子カヤックペア(WK-2) 500m	1位
	内田海斗	第55回全日本学生カヌースプリント選手権大会	男子カヤックリレー(4×K-1) 4×500m	2位
	岩男秀斗	第55回全日本学生カヌースプリント選手権大会	男子カナディアンペア(C-2) 200m	1位
吉田俊吾				
吉田俊吾	2019年度 SUBARU 日本カヌースプリント選手権大会	男子カナディアンペア(C-2) 500m	3位	
				岩男秀斗
溝林朋美	第55回全日本学生カヌースプリント選手権大会	女子カヤックペア(WK-2) 200m	3位	
				口田美薫
体操競技部	杉野正亮	第73回全日本体操種目別選手権大会	あん馬 14.566	1位
	市口大和	第73回全日本学生体操競技選手権大会	あん馬 15.150	1位
なぎなた部	春山りんか	第58回全日本学生なぎなた選手権大会	個人試合の部	1位
自転車競技部	橋本優弥	第60回全日本学生選手権トラック自転車競技大会	女子3km インディビジュアルパーシュート	1位
	石上夢乃	第75回全日本大学対抗選手権自転車競技大会	女子オムニウム	1位
	橋本風香	第60回全日本学生選手権トラック自転車競技大会	女子マディソン	1位
	内村風優	第75回全日本大学対抗選手権自転車競技大会	女子チームスプリント	2位
柔道部	徳田根匠	第60回全日本学生選手権トラック自転車競技大会	タンデム・スプリント	3位
	福田大悟	2019年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会	男子60kg級	3位

冠スポーツ奨学金(団体)

なぎなた部	第58回全日本学生なぎなた選手権大会	団体試合の部 準優勝	2位
-------	--------------------	------------	----



三浦里帆さん(なぎなた) 北希織さん(なぎなた) 徳田根匠さん 内村風香さん 橋本優弥さん 森黒開さん 田原瞭太さん 森愛奈さん ※写真での紹介は卒業生のみ

本財団では、毎年卒業式の時期に国内外の競技大会で優秀な成績を収めた鹿屋体育大学の学生や競技団体に対して「スポーツ奨学金」を贈呈しております。この奨学金は地元企業の皆様の寄付により贈呈されるもので、厳選な基準により選ばれた令和元年度の受賞者は、国際大会に出場し優秀な成績を収めた学生に贈られる「特別スポーツ奨学金」に1名、「冠スポーツ奨学金」として個人28名(複数受賞が10名)と1団体になりました。本来であれば受賞者全員が出席しての贈呈式を開催予定でしたが、今年は新型コロナウイルス感染症対策に伴い卒業証書および学位記授与式の式典が中止になったため、奨学金は後日課外活動の顧問教員に手渡ししました。

令和元年度
冠スポーツ奨学金、
特別スポーツ奨学金を贈呈



高木駿一さん 佐藤博幸さん 袖野秀斗さん

課外活動団体紹介



体操競技部

体操競技部は、新4年生7人、新3年生7人、新2年生6人で活動しています。練習時間は平日が17時～20時まで、土曜日は16時～19時までです。

鹿屋体育大学体操競技部は全日本インカレ優勝を目指して、日本代表の杉野正亮を中心に、日々練習しています。体操競技部はみんな個性豊かで、優しく、お互いを意識しながら切磋琢磨しています。昨年の主な成績は、第67回九州学生体操競技選手権大会団体優勝、個人総合3位堀内柊澄、4位杉野正亮、5位長谷川毅、6位上田直樹。第69回西日本学生体操選手権大会団体優勝、個人優勝堀内柊澄、4位上山廉太郎、5位杉野正亮。第73回全日本体操競技種目別選手権大会あん馬優勝杉野正亮。第73回全日本学生体操競技選手権大会団体5位、個人総合7位杉野正亮、種目別あん馬優勝金山大和、種目別跳馬6位原口幸大。第62回九州学生体操競技新人大会団体優勝、個人総合優勝長谷川毅、2位原口幸大、3位高田佑貴でした。鹿屋体育大学体操競技部はこのように九州、西ではトップの位置、全国では上位に入る競技力を持っているチームです。全日本インカレ団体優勝を目指して頑張っていきます！

告知板
「いんぐりっしゅ☆る～む開催(前期)」
知っている英語を使って、自由に英語を楽しみませんか？レベルも年齢も問いません。英語を通して交流の輪を広げてください。
開催日時：5月20日、27日、6月10日、17日、7月1日、8日
(いずれも水曜日の16時45分～17時45分)
開催場所：鹿屋体育大学 NIFS Gallery (学生会館2階、売店隣)
参加費：無料
申し込み方法：参加できる日に直接会場へ
問い合わせ：鹿屋体育大学国際交流センター 国重 徹
(研究室)0994-46-4893 kunisige@nifs-k.ac.jp

Kubota 農業機械
株式会社
三木商会
http://www.mizuho.kubota.ne.jp
〒893-0009
鹿児島県鹿屋市大手町12番1号
TEL (0994) 43-4178
FAX (0994) 44-9371
【営業所】
鹿屋・高山・志布志・岩川・
牧之原・野方・垂水・大根占

「視覚」「触覚」が「記憶」に残る
SUGOHAKU
【厚盛デジタル加飾システム】-KIRAMEKI-
視覚と触覚で感じる
印刷物へ
新たな付加価値を
厚盛クリアニスの上に箔を加飾させることで、盛り上がった立体的な箔加工が可能になりました。従来の箔押しと一線を画したグラマラス感のある仕上がりに。
パッケージ・パンフレット・ポスター etc.に、ご利用いただけます。
お気軽に
お問い合わせ
ください。
鹿児島県鹿屋市礼元1丁目22-34
株式会社新生社印刷 ☎0994-43-2238
URL http://www.shinsei-p.co.jp E-MAIL kan@shinsei-p.co.jp

まっすぐに。正直に。
たいかい
大波酒造株式会社
〒893-0016
鹿児島県鹿屋市白崎町21番1号
電話(0994)44-2190 FAX(0994)40-0950
○飲酒は20歳になってから。
○飲酒は楽しく、適量を。
○妊娠中、授乳期の飲酒はお控え下さい。
○飲酒運転は法律で禁止されています。

学生挑戦プロジェクト成果報告会を開催

2月19日、鹿屋体育大学で学生挑戦プロジェクト成果報告会が開催されました。

初めに大辻ゆうさん（スポーツ総合課程2年）が、カナダの大学で学生挑戦プロジェクト成果報告会を開催されたこと、やりたいことを考える時間となった」といった声が聞かれ、有意義な報告会となりました。



左から大辻さん、中谷さん、平垣さん

今後、その経験を大隅地区に還元していきたい」と話しました。最後にアメリカの大学や体協競技のクラブチームで競技力向上、アイデンティティの形成、外国人のスポーツの価値観の調査に取り組んだ中谷希さん（スポーツ総合課程4年）は「主体的に行動し、終わりのイメージを描き、周りを気にせず挑戦して欲しい」と後輩たちに伝えました。

令和元年度「なんでんかんてん語ろう会」開催

2月19日、学生と教職員が直接自由に意見を交わすことで学生のニーズや満足度を把握し、今後の学生支援の方策に資することを目的とした「なんでんかんてん語ろう会」が鹿屋体育大学学生相談支援室主催で開催され、各課外活動団体から選出された学生や、学生相談支援室、学生委員会の教職員など43名が参加しました。



参加者からは「プロジェクトを通して人間とジェクトを通して人間として成長した姿を見ることができ、いい刺激になった」「自分がやるべきこと、やりたいことを考える時間となった」といった声が聞かれ、有意義な報告会となりました。

令和元年度教員表彰式を実施

鹿屋体育大学で3月5日、令和元年度の教員表彰式が実施されました。この教員表彰は、各教員の前年度の業績を基にして、同大学の授業において優れた教育能力を発揮した教員を表彰する「優秀授業賞」と同大学学生の競技力向上に貢献した教員を表彰する「プラチナコーチ表彰」等の各表彰で構成されています。今回の表彰対象者は、前年度の授業振り返りアンケートを基にして、全授業科目の中から高い評価を得られたことにより、贈られる優秀授業賞に19名、前年度の競技成績を基にして、世界選手権大会等に出場者を輩出したことにより贈られるプラチナコーチ表彰に3名、アジア大会等において3位以上の成績を挙げた者を輩出したことにより贈られるゴールドコーチ表彰に3名、全日本選手権大会等において3位以上の成績を挙げた者を輩出したことにより贈られるブロンズコーチ表彰に1名が選定されました。松下学長をはじめ、理事、系主任、事務局次長列席のもと行われた表彰式では、松下学長から一人一人に表彰状が手渡された後に、今後も連続して表彰されるように励んでほしい旨の挨拶がありました。毎年表彰を行うことで、教員が一層モチベーションを高め、同大学の教育活動及び競技力向上の進展につながることを期待されます。

学生リーダーズセミナーを開催

2月14日、鹿屋体育大学で課外活動団体の主将など学生団体のリーダーを対象とした「学生リーダーズセミナー」が、一般社団法人日本アンガーマネジメント協会ファシリテーターの山元英之氏をお招きして開催されました。テーマ「アンガーマネジメント」を「怒りを後悔しないこと」と説明して始まった今回のセミナーで、山元氏は自己分析や学生同士での意見交換の時間を設けながら、怒りの正体や怒りが生まれるメカニズム、衝動・思考・行動をコントロールするテクニック等について、話しました。日常生活で起こる「怒り」の感情と上手に付き合うことで、自身のストレスの軽減や組織全体のパフォーマンス向上など目標が選定されました。



学内行事 (令和2年5月)

17日 大学説明会(東京サテライトキャンパス)
29日 卒業研究の概要(プロポーザル) 提出締切(4年次)

『蒼天』隔月刊行へ変更のお知らせ

平成3年4月1日の創刊以来、月刊紙として発行してまいりました財団月報『蒼天』ですが、カラーとしての発行と紙面の充実、時代のニーズに合わせた公式WebサイトやTwitterなどSNSでの情報発信の充実を図るため、令和2(2020)年4月号の今月号をもちまして、刊行形態を隔月刊とさせていただきます。5月発刊号より5・6月号として奇数月が発行月となります。今後ともご理解とご支援をいただけますようよろしくお願い申し上げます。

公益財団法人鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団
編集兼発行人 風呂井 敬

闘いの記録 2月		闘いのスケジュール 5月	
【テニス】	400m 自由形 3位 古賀 圭一郎	14日 令和2年度九州大学春季バレーボール女子1部リーグ 第3週	
◆令和元年度九州学生室内テニス選手権大会 (2/10~13 福岡/博多の森テニス競技場 室内テニスコート)	100m 背泳ぎ 3位 門田 玲希	(~17 沖縄/沖縄市体育館)	
▽男子	50m バタフライ 1位 菊池 玲希	21日 令和2年度九州大学春季バレーボール男子1部リーグ 第3週	
ダブルス 3位 田代、杉本	100m バタフライ 2位 菊池 玲希	(~24 鹿児島/鹿屋市体育館)	
▽女子	200m 個人メドレー 1位 田崎 竜成	22日 第70回西日本学生体操選手権大会 (24 兵庫/グリーンアリーナ神戸)	
ダブルス 1位 大津 あかり	400m 個人メドレー 1位 田崎 竜成	第90回九州学生陸上競技対校選手権大会 (24 福岡県/博多の森陸上競技場)	
シングルス 2位 岡崎 亜美	100m 自由形 3位 高宮 玲音	23日 天皇杯JFA第100回全日本サッカー選手権大会 1回戦 (24 未定)	
3位 富濱 祥子	200m 自由形 2位 高宮 咲紀	第65回西日本学生剣道大会 (24 福岡/久留米アリーナ)	
ダブルス 1位 岡崎、富濱	400m 自由形 1位 高宮 咲紀	第35回西日本女子学生剣道大会 (24 福岡/久留米アリーナ)	
【水泳】	100m バタフライ 1位 小林立 吉原	24日 第22回全日本学生選手権クリテリウム大会 (東京/大井埠頭)	
◆第40回九州カップ水泳競技大会 (2/1~2 福岡/福岡市立総合西市民プール)	200m バタフライ 2位 小林立 吉原	29日 第59回NHK杯体操 (31 群馬/高崎アリーナ)	
▽男子	100m 自由形 3位 古賀 圭一郎		
200m 自由形 2位 田切 和也			
【柔道】			
◆第32回全国体育系学生柔道体重別選手権大会 (2/22~23 東京/講道館)			

【注意】「学内行事」・「闘いのスケジュール」は、変更の可能性があります。

授業料の納付について

令和2年度前期分授業料は、下記のとおり銀行口座引落を行いますので、よろしくお願いいたします。

- 銀行口座引落日 5月27日(水) 前日までに引落口座へ入金してください。
- 授業料(半期分) : 267,900円
- 問い合わせ先 鹿屋体育大学 財務課出納係 TEL 0994-46-4840

カイクー(株)様 (三万円)

賛助会費は、奨学金、国際交流、学内研修等に利用させていただきます。心から感謝申し上げます。

ありがとうございます